

第 97 回（2021 年度）日本選手権水泳競技大会〔アーティスティックスイミング競技〕
監督者会議資料

公益財団法人 日本水泳連盟
競技委員長 鈴木 浩二
A S 委員長 本間 三和子

1 新型コロナウイルス感染拡大防止について

- (1) 本大会は日本水泳連盟が定めた「水泳競技会の再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」を順守し、「無観客」で開催。
- (2) 大会参加者は、二次要項の「大会の参加に当たって」【別紙 1】を順守すること。本大会では更なる感染拡大防止対策を講じる場合がある。施設内では、係員の指示に従うこと。
- (3) 大会関係者は、大会ホームページ(以下HP という)からダウンロードした「健康チェック表」を毎日提出すること。また、新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) を活用できるように準備している場合は、電源をONにした上で Bluetooth を有効にすること。尚、個人所有の携帯端末の諸事情によりインストール不能な場合はこの限りではない。
- (4) 大会期間中は徹底した感染拡大防止対策に努め、自宅～大会会場～宿舎の移動のみとし、外出は控えること。

2 資格の確認、出場順の抽選、登録情報の確認について

- (1) 申込者全員の資格確認済
- (2) 出場順の抽選は二次要項の通り 5 月 6 日 13 : 00 より行う。5 月 6 日 12 : 00 までのメール受付後、承認された「特別措置申請書 (棄権申請)」「特別措置申請書 (エントリー申請)」の棄権者を確認の上、抽選する。暫定スタートリストは 15 : 00 を目途に「SEIKO アーティスティックスイミング・リザルト速報サービス 2021 年」で公開する。
- (3) 監督者会議に予定していたプログラムの訂正、SEIKO リザルトシステムの登録情報の確認について、5 月 6 日(木)公式練習時間内に関係資料を受付で受け取り、19 : 30 閉場時間までに受付へ提出すること。
- (4) 監督者会議資料は、5 月 6 日 13 : 00 にHPに公開する。予めチーム責任者に通知したメールアドレスにて、15 : 00 まで質疑を受け付け、Q & Aとして 17 : 00 までにHPに公開する。
- (5) エントリー時に補欠登録をしたデュエット種目、およびチームテクニカル、チームフリー、フリーコンビネーション、ハイライトルーティンについては、メンバー変更の有無に関わらず競技開始 2 時間前 (エントリー締切時刻) までに、最終エントリーを所定の用紙でエントリーボックスに提出すること。エントリーボックスは 2 階選手受付に設置する。
- (6) 棄権する場合は、競技開始 2 時間前 (エントリー締切時刻) までに、所定の用紙をエントリーボックスに提出すること。以後、やむを得ず棄権する場合、速やかにレフリーに書面で届け出ること。
- (7) HPに掲載された「重要なお知らせ」の通り、発熱の発症等により、会場へ入場不可または出場できなくなった場合、文書で証明された場合のみ特別措置が認められる。5 月 6 日 12 : 00 以降は、発症した時点で直ちに「特別措置申請書 (棄権申請)」「特別措置申請書 (エントリー申請)」を書面でレフリーに提出すること。

3 ドーピングコントロールについて

- (1) 本大会は、JADA によるドーピング検査の対象となるので、常にADカードを携帯すること
- (2) 本大会におけるドーピング検査については【別紙 2】、アンチドーピングについてはHPに公開された資料および下記サイトを確認すること。

【HP アップ資料】

- 21-1<アンチ・ドーピングガイド>
- 21-2<TUE ガイド>
- 21-3<担当医師へのお願い>
- 21-4<いつでも使える薬の例>
- 21-5<ドーピングホットライン>

(公財)日本水泳連盟 アンチドーピング

<https://swim.or.jp/anti-doping/>

4 競技について

- (1) 本大会は、(公財)日本水泳連盟諸規則および本大会競技要項に基づいて行う。安全・感染防止を最優先とし、大会を円滑に進行させることを目的として、競技規則を一部変更、省略して実施する。
- (2) 本大会は、全ての競技について映像で記録する。
- (3) 全て単独のイベント(競技)として決勝のみとし、予選は行わない。
- (4) 全ての競技は、100 点満点とする。
- (5) 競技時間についてはホームページ掲載の別紙参照。競技進行状況により、競技時間・練習時間に変更がある場合は場内で告知する。入場時間に変更がある場合は、受付にて案内する。
- (6) 開会式、開始式は行わず、開式通告のみとする。
- (7) ソロテクニカルおよびチームテクニカルに1組ずつプレスイマーをおく。
- (8) JAPAN チームがデュエットテクニカル、デュエットフリー、チームテクニカル、チームフリーにオープン出場予定。出場順抽選には含むが、ランキングには含まない。
- (9) 本大会は上訴審判団を設置する。
- (10) 本大会は、JADA によるドーピング検査の対象となるので、常にADカードを携帯すること。
- (11) 本大会は全日程を通じて競技中に発生した事項に関する抗議は、その競技終了後に発表される正式結果の時刻から 30 分以内にクラブ代表コーチが、文書で審判長(レフリー)に提出する。

5 表彰について

- (1) 表彰式は行わない。ただし、上位3位については、正式結果発表後にインタビューコーナーで記念写真の撮影を行う。
- (2) 各種目とも1位～3位にメダルならびに賞状を授与し表彰する。4位～8位は賞状を授与する。(実際に泳いだ選手にのみ賞状・メダルを授与する)
- (3) メダル、賞状の受け渡しは正式結果発表後の記念撮影時に行う。
- (4) 選手の所属が複数ある場合においても、競技会ではひとつの所属を選択して出場すること。記念撮影では、種目ごとに異なる所属のウェアを着用してはならない。

6 会場について

- (1) ADカードを持っている、選手・関係者以外は入館できない。ADカードは来場初日に受付で配布する。
- (2) 館内にいるときは、ADカードを常時首から下げて着用すること。また入退館に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、有償(3,000 円)にて再発行を受けること。
- (3) 入館は2階からとする。1階正面ゲートは使用することはできない。
プールに向かって、入場口右側がクラブ関係者受付、左側はプレス・関係者入場口とし、クラブ関係者の立入は禁止とする。
- (4) 大会会場への入場開始時間を開場、最終退場時間を閉場とし、プールエリアへの入場・退場時間と合わせて日程表に記載する。開場時の入場は、その日の競技に出場する選手と付添を最優先とし、規制入場とする。

- (5) プールサイド・更衣室の使用は、競技順により制限する。プールエリアへの入場・退場時間は日程表に記載。当日競技に出場しない選手は、観覧席待機のみとし、プールサイド・更衣室の使用は出来ない。
- (6) プールエリアへの通行口において、入場種目毎に指定された、選手ADカードの色シールを確認する。
2階観覧席と1階プールへの移動階段は、右側通行とする。
- (7) 選手は、自分の競技終了後、なるべく速やかに退館すること。ミーティング等は控えること。
- (8) 入館前に、手指消毒をし、検温を受けること。入館時の検温で 37.5 以上あった場合は、別の場所で再度検温を行う。その結果、37.5 度以上あった場合は、入館することができない。
COVID-19 Officer の指示に従うこと。入館時の判断基準は【別紙3】参照。
再入館する際も、手指消毒・検温を受けること。
- (9) 「健康チェック表」の提出について
- ① HPからダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。「健康チェック表」は、公式練習日を含め毎日大会会場への入場時に提出すること。
 - ② 「健康チェック表」の体温・体調については、入場2日前、1日前、当日の3日分を記載すること。
 - ③ 回収した「健康チェック表」は返却をしないので、記載内容を写真等で保管すること。
 - ④ 公式練習日、大会期間中とも、外出後の再入館の際は、入館口での検温を行うが、上記の用紙の提出は必要ない。再入館を前提に外出する際は受付でADカードに外出シールを貼り付ける。但し、ADカードに記名がない付添者は、外出後の再入館の際に、提出済の「健康チェック表」の写真を提示すること。付添者の変更や写真提示できない場合は、新たに「健康チェック表」を提出すること。
- (10) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (11) 会場内は、使用エリアを限定する。立ち入りを許可された時間、エリアを順守すること。選手・付添待機・飲食指定場所は、観客席とする。観客席選手席は2階のみとする。観客席の座席指定は行わない。館内動線を守ること。
- (12) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (13) 選手の控所・荷物置き場として、観客席裏のスペースを使用することができる。クラブの人数に応じて適切なスペースを使用すること。クラブ毎に荷物をまとめ、盗難防止に努めること。また、荷物は最小限に留め、貴重品はクラブ責任者が管理すること。
- (14) 観客席の座席は、少なくとも一つ以上空けて使用することし、着席禁止席は使用しないこと。人との距離・座席間の距離を保つこと。
選手・付添者・コーチの飲食場所は、観覧席とする。観客席裏のスペース、更衣室、プールサイドでの飲食は禁止とする。食事について、感染予防のため、観覧席で人との距離を保ち、会話を控えて単独で取ること。ドリンクは、各自で保管し回し飲みはしないこと。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。
- (15) 観客席、通路は外履き、または上履きで通行すること。(裸足の通行は厳禁とする)。また、プールサイドで選手は裸足、コーチは上履きの使用可。観覧席からプールサイドや更衣室に移動する際は、土足をビニール袋などに入れて保管すること。土足でのプールサイドへの立ち入りは厳禁とする。
- (16) 飲食物・持ち物等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。従って、室内履き、マイタオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋など自分専用のものを持参すること。
- (17) 女子選手更衣室として、男女更衣室を使用する。
男子選手更衣室として、女子更衣室側の多目的更衣室を使用する。
更衣室は、密を回避する目的で、滞在時間を短縮のため、更衣のみとし、ロッカーを使用することはできない。
置き荷物は、忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (18) 練習および競技中、プールサイドへは必要最小限の物のみ持ち込み可とする。各自でビニール袋やナップザックなどを持参し、全ての持参品をひとまとめにし、外から誰が見ても分かるよ

うにクラブ名と氏名を大きく明記すること。

各自でマスクを保管する袋を用意し、他人のマスクと間違えることのないようクラブ名・氏名を明記すること。

プールサイドでの水分補給を認める。飲み物も各自で責任をもって保管すること。

- (19) 泳ぐとき以外は、原則として常にマスクを着用すること（更衣室・招集所・選手控え場所・観客席・プールサイド・トイレなど）。競技前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに、直接置くことのないよう注意すること）招集所内では、他の選手との十分な間隔をとって、マスクを外すことができるが、会話は慎むこと。
- (20) 会場内で発声を伴うランドリルは禁止する。ランドリルをする際はマスクを着用し、音量に注意する。
- (21) コーチは、練習時プールサイドから水中にいる選手への大声での指導を控えること。競技・練習前後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。指導者同士の会話は最小限に留めること。
- (22) 観覧席退出時の片付けを徹底すること。ゴミ袋を持参し、各自が持ち込んだものから出たゴミはすべて持ち帰ること。スポンサー飲料の殻は指定場所へ分別して捨てること
- (23) 公式掲示板を2階観客席通路に設置する。掲示確認の際は、周囲の関係者との距離に留意し、譲り合って順番に確認すること。
- (24) 本大会ではカメラ席（撮影エリア）を設置しない。2階観客席選手席では、全て競技の撮影をすることができる。
- (25) 大きな声での会話や、大きな声を出しての応援をしないこと。拍手・手拍子は認める。
- (26) 毎日出場する1種目めの髪上げは、できるだけ宿舎で済ませて来ること。出場2種目め以降や、宿泊なしで会場入りする場合の髪上げについては、観覧席で行うことを認める。尚、レジャーシートを持参し、広げたくて髪上げし、髪やゼラチン、ピン類で床を汚さないこと。
- (27) メイクアップは、観覧席で行うことを認める。
- (28) マッサージベッドは、観覧席裏のスペースに置くことができる。毎日持ち帰ること。
- (29) プールエリアにガラス製品を持ち込まないこと。（メガネ、マニキュア・化粧品の瓶など）
- (30) 競技直前のメイク直しを認める。密にならないよう細心の注意を払うこと。
- (31) 競技後のシャンプー、髪下しは宿舎に戻ってから行うこと。但し、競技後、宿舎に寄らず帰宅する場合、シャワー室でのシャンプー使用を認める。シャワー室が密にならないよう各自の演技終了後、速やかに行うこと。シャワー使用後は排水溝を清掃し、詰まった髪の毛・ゼラチンは除去してゴミ袋に入れ持ち帰ること。ゼラチンはシャワーで流さず、持ち帰ること。

7 大会・競技について

- (1) 主催・主管・大会役員紹介

主催：(公財)日本水泳連盟

主管：(一財)大阪水泳協会

後援団体・特別協賛・協賛各社・協力等についてプログラム参照

審判長：田中洋子 チーフレコーダー：後藤一恵

- (2) 緊急連絡先

本部宿舎 ホテル京阪 京橋グランデ 06-6353-0321

※責任者連絡先電話番号は、クラブ責任者宛に別途メールにて通知する

- (3) 選手・付添者動線

ウォークオンライン、コーチ席、競技中の選手・コーチ動線は【競技プール図】参照

各競技終了後、上位3位までの入賞者は、インタビューボード付近の壁側の指定場所に集合する。

- (4) プールコンディション

室温・水温は、公式掲示板に掲示する。

(5) 医療体制

COVID-19 officer：奥田鉄人

本大会は、COVID-19 Officer が常駐し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止および、競技役員・出場選手の感染予防にあたる。期間中、選手の健康管理は、各クラブで十分注意し、発熱者および怪我や体調不良があった場合は、直ちに大会本部に申し出ること。

その後は、COVID-19 officer および救護スタッフの指示に従うこと（救護室に直接立ち入ることはできない）。

(6) 広報・報道対応

本大会では、報道の要望により、演技後のインタビュー取材を行う。また、公式結果発表後、上位3位までの選手については、インタビューボードの前で写真撮影を行う。

(7) スポンサー提供飲料（ヤクルト）

本大会スポンサーのヤクルトより、飲料が提供される。

要冷蔵が必要なヤクルト等は、2階入口付近に設置した冷蔵庫から各自で取り出し、その場で直ちに飲むこと（持ち帰りは出来ない）。

冷蔵庫開閉の際は、手指消毒を行い、飲料は飲み切ること。

空いた容器は、専用のゴミ箱に捨てること。ペットボトル飲料の飲み残しは、持ち帰ること。

(8) インターネット映像配信

(公財)日本水泳連盟公式 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCILyhI4E7BF3MmPREE9wMEg>

(9) 競技結果の配信

競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。

SEIKO アーティスティックスイミング・リザルト速報サービス 2021 年

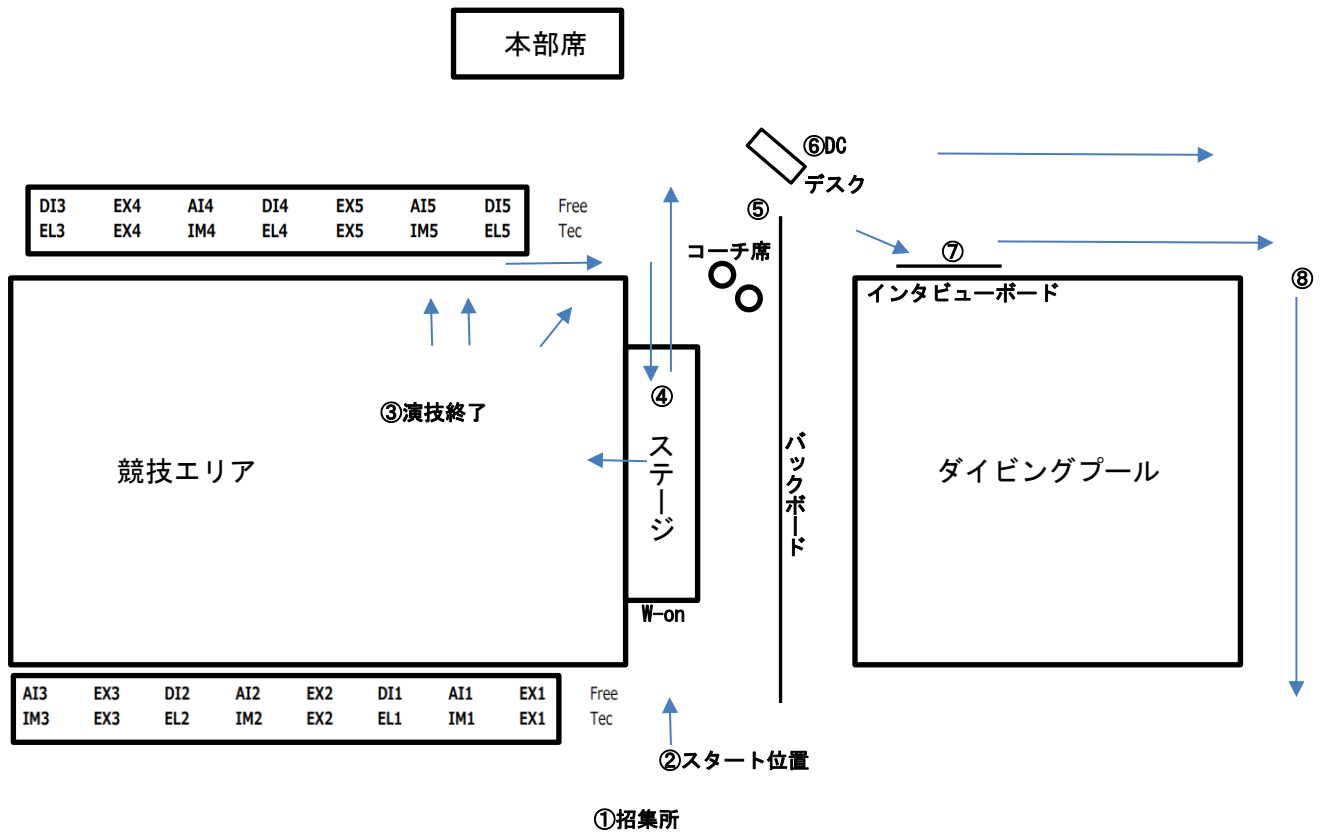
<http://swim.seiko.co.jp/artistic/2021/01/jp/index.html>

※速報は WEB 掲載・公式掲示板への掲示のみとし、クラブ毎の配付は行わない。

※公式結果の発表について可能な限り競技終了直後、場内で行う。

以上

【競技プール図】



■選手

- ①招集所で点呼を受け、指示に従いADカードを提出し、マスクはコーチが保管する。
- ②選手は、ひとつ前の演技・音楽の終了時に、スタート位置へ移動して待機。
- ③演技終了後は、最短距離にあるプールサイドに上がり、ステージ上で得点を聞く。
- ④ステージ上では選手同士が密接にならないよう間隔を空けて立つ。
- ⑤コーチからマスクを受け取り着用する。
- ⑥ドーピングコントロールデスクにて、選手本人がADカードを受け取る。
- ⑦演技後、報道係員より要請があった選手はインタビューを受ける。
- ⑧ダイビング裏を回って更衣室、選手席に戻る。

■コーチ

- 1、フェイスシールド・フェイスガード・アイガード等を着用し、①招集所で選手のマスクを受け取り保管する。
- 2、招集後、演技開始前に本部側へバックボードの裏を通して速やかに移動し、競技中はコーチ席で演技を確認すること。1エントリーにつきが、2名までコーチ席に立つことができる。コーチ席では密接にならないよう間隔を空けて立つ。
- 3、演技終了後、⑤で選手にマスクを受け渡す。

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前 2 週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に 該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方いる場合
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 「健康チェック表」「感染防止対策チェックリスト」を入館者全員が持参しているか確認すること。
提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOA を入れている場合は、電源を ON にした上で Bluetooth を有効にすること。
- (5) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内では、マスクをはずしてもよいが会話を控えること。招集所ではずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (6) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。マスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (7) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2 m 以上）をとって行動すること。
- (8) 競技終了後、更衣室で水気を取り、マスクを着用し、室内履きを履いてから移動すること。
- (9) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。
- (10) 食事は、選手控え場所・観客席のみで、人との距離（2 m 以上）を保ち単独で取ること。
- (11) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに 留意すること。
- (12) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー
 - ・ アイシングバス、トレーニングバイク等
 - ・ メガホン、横断幕、のぼり
 - ・ 共有で使用するストレッチマット（個人専用は持ち込み可）
 - ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具（個人専用は持ち込み可）

【別紙 2】

本競技会におけるドーピング検査について

アンチ・ドーピング委員会

- ・ 本競技会では FINA ルールに則って JADA によるドーピング検査が行われます。
- ・ JADA ではドーピング検査における新型コロナウイルス感染症対策を、世界アンチ・ドーピング機構のガイドラインに則り実施されます。
- ・ 決勝競技に限らず、出場する競技者は全員が検査対象になる可能性があります。
- ・ 検査対象に選ばれるとシャペロンや DCO と呼ばれる検査員から「〇〇選手ですね、ドーピング検査の対象になりました」と通告があります。クールダウンや表彰式などを優先してかまいませんが、通告後は可能な範囲で速やかに検査室に向かうようにして下さい。
- ・ 尿検査または血液検査またはその両方が実施されます。詳細は通告時に説明されます。
- ・ 18 歳未満の競技者は通告の時点から、必ず成人の同伴者（コーチ、監督、トレーナー、チームメイト、家族など）を 1 名付けて下さい。18 歳以上の競技者でも、同伴者を 1 名付けることが出来ます。
- ・ 2021 年から 18 歳未満の競技者に対する親権者の同意書は JADA が直接取得することになりました。検査時に同意書の提示を求められますが、事後の郵送も受け付けています。過去に 1 度でも提出していれば繰り返しの提出は不要です。詳しくは検査時に JADA 検査員にお尋ねください。
- ・ 競技終了後は速やかに AD カードを受け取ってください。多くの通告はこの AD カード返却の際に行われます。
- ・ 特に団体競技では AD カードの返却場所が混み合いますが、正確でスムーズな通告を行うためにも、AD カードは本人が自分のものだけを持っていくようにして下さい。
- ・ 検査室に入った後も、用事があれば一時的な退室が可能です。検査終了前の一時退室にはシャペロンや検査員の付き添いが必要になりますので、競技者だけで検査室を離れないで下さい。
- ・ 検査に時間がかかっても、検査未了のまま検査を拒否することは出来ません。
- ・ 検査室は医薬品の使用の可否を質問する場所ではありません。日本水泳連盟ホームページの「薬の相談窓口」から問い合わせるなど、事前に対策して下さい。

入館時の判断基準

